

令和3年度兵庫県立上野ヶ原特別支援学校 学校評価 保護者アンケート集計結果(回収数53)

評価項目	評価	評価平均	人数(人)					合計	割合(%)				
			4	3	2	1	N		4	3	2	1	N
①家庭、福祉、医療との連携を深め、児童生徒の細やかな実態把握のもと、適切な生活支援や学習指導を行い、子どもたちの主体的な活動につなげる。	A	3.6	34	17	3	0	0	54	63.0	31.5	5.6	0.0	0.0
②ICT機器の機能・操作方法や、その特性を活かした効果的な活用の仕方を研修し、教師のスキルアップを図る。また、各教科等の指導の中で、卒業後の生活を豊かにするための情報活用能力の育成を目指した教材研究に取り組み、その実践を蓄積する。	A	3.3	21	14	9	0	10	54	38.9	25.9	16.7	0.0	18.5
③新型コロナ禍において、学校行事は密にならないよう実施し、動画によるリモート参加にすることで全校生が一堂に会することのないよう配慮する。	A	3.7	38	11	3	0	2	54	70.4	20.4	5.6	0.0	3.7
④新学習指導要領の実施に向けて、教育課程を編成し、個々の教育的ニーズを踏まえた個別の指導計画を保護者と共通理解しながら作成する。	A	3.8	33	17	3	0	1	54	61.1	31.5	5.6	0.0	1.9
⑤保護者や地域、関係機関との繋がりを意識した情報発信に努めるため、各学部・学年と連携しながら、HP及びブログ等を定期的に更新する。	B	3.1	18	21	11	0	4	54	33.3	38.9	20.4	0.0	7.4
⑥生活部だよりを発行し、児童生徒への生活指導と登下校指導や自力通学に関する情報について保護者へ周知して連携を図る。	A	3.5	29	16	3	1	5	54	53.7	29.6	5.6	1.9	9.3
⑦学校生活をより充実して過ごすために、登校後の検温や健康観察を毎日行い、家庭や医療機関と積極的に連絡を取るようにする。新型コロナウイルス感染症などの感染症から身を守るため、マスクの着用・手指の清潔を徹底して行う。	A	3.7	36	13	2	0	3	54	66.7	24.1	3.7	0.0	5.6
⑧個別の教育支援計画に基づき、適切な支援ができるようにする。必要に応じて、支援会議を開催し、福祉、医療等関係機関と連携を図り、支援につないでいく。	A	3.6	32	15	2	1	4	54	59.3	27.8	3.7	1.9	7.4
⑨児童生徒が主体的、対話的で深い学びができるように、日々の授業研究や授業実践研修会を通して、資質および実践力向上を目指した授業研究を行う。	A	3.5	26	19	1	0	8	54	48.1	35.2	1.9	0.0	14.8
⑩社会生活に興味関心を高め、社会的・職業的自立に必要な力を育てるため、地域の関係機関と連携し、職場見学、校内実習、現場実習、校外学習、技能検定等の体験的活動に取り組む。	A	3.7	33	14	0	0	7	54	61.1	25.9	0.0	0.0	13.0
⑪児童生徒が自己実現や自尊感情を育み、主体的に取り組めるような目標を設定し、学校行事や交流及び共同学習を実施する。	A	3.6	34	18	1	0	1	54	63.0	33.3	1.9	0.0	1.9
⑫令和3年度の教育活動の理解促進と学校経営ビジョンの実現のため、学校評価重点目標とアンケート項目を1学期中に保護者・学校関係者に公表する。職員は年度途中に学校評価の進捗状況を確認・評価するとともに、最終的には、年度末に学校評価アンケート(職員・保護者・学校関係者)を実施し、評価を行う。	A	3.6	30	17	2	0	5	54	55.6	31.5	3.7	0.0	9.3

4(よくできた) 3(できた) 2(あまりできなかった) 1(できなかった) N(評価できない・分からない)

評価基準	A	B	C	D
集計平均	4~3.21	3.2~2.41	2.4~1.61	1.6~0